

私たちの暮らすまちは 私たちの手で 暮らしやすく！

あなたも 協働のまちづくり プロジェクトにご参加を…

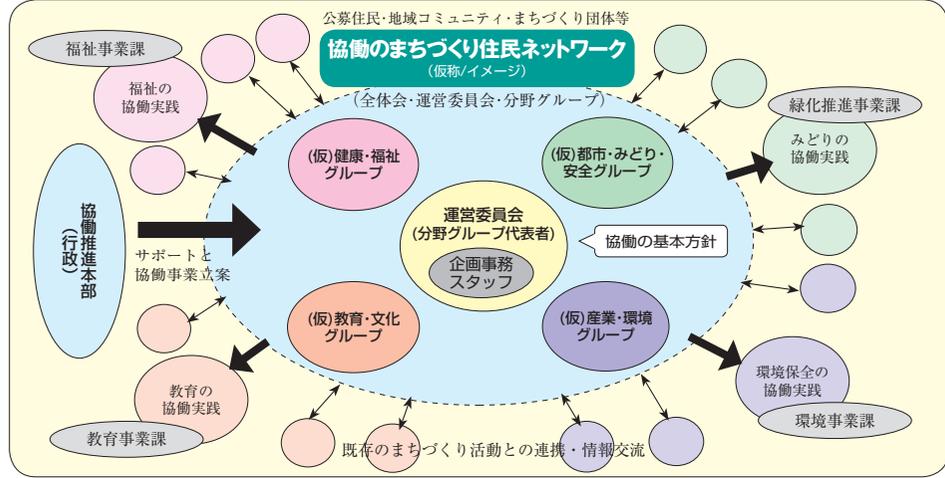
町は、公募住民でまとめた「協働のまちづくり研究報告」を受けて、町長を本部長とする協働推進本部を立ち上げました。本部では、協働推進計画の作成に着手するとともに、住民自らの手で「(仮称)協働のまちづくり住民ネットワーク」を構築するため、準備会メンバーを募集することになりました。協働のイメージについてお知らせしますので、ご理解とご協力をお願いします。

問い合わせ 総合政策室 (内線422~424) FAX274-1055 Eメール seisaku@town.saitama-miyoshi.lg.jp

多くの皆さんにまちづくりに関わっていただくためには、「(仮称)協働のまちづくり条例」などの基本理念のもとで、企画・実行・評価の各段階別に住民参加の方法を制度化する必要があります。例えば：①まちづくり懇話会 ②まちづくり学習会 ③パブリック・コメント ④企画立案ワークショップ ⑤事業サポーター ⑥審議会委員公募 ⑦事業評価委員 ⑧町政モニターなどが考えられます。

協働のネットワーク

住民の皆さんと行政がパートナーとして協働のまちづくりを進めていくには、住民が主役となつたまちづくりネットワークを構築していく必要があります。(下図参照)。各まちづくり分野が、いきと活動展開できるようなサポートやまちづくり情報の収集・発信などの役割が考えられます。行政組織である協働推進本部がこれをバックアップしつつ、連携して協働事業を企画、メニュー化していく予定です。



協働ネットワークの準備会メンバーを募集

町では、協働の住民ネットワークを具体化する作業にご協力いただける方を広く募集します。「経験はないが福祉や健康、環境などのまちづくり実践に関わってみたい」「活動経験をネットワークに活かしてみたい」「まちの魅力を再発見して活性化させたい」など、奮ってご応募下さい。

対象者 18歳以上で町内在住・在勤又は在学の人。30名程度。(無報酬)

期間等 月1回程度の平日夜の会議で、概ね半年から1年間

応募用紙 町ホームページや町内の公民館にあります。参考として「協働のまちづくり研究の概要」などの資料も閲覧できます。

「協働」とは？

行政だけが公共サービスを担うのではなく、住民・団体・企業など地域の構成員が役割を分担し、特徴を活かしながらまちづくりに貢献する考え方で、パートナーシップともいいます。情報の共有とお互いの尊重が原則です。

大気中のダイオキシン類濃度調査結果表 pg-TEQ/m³

場所	月日	5/18~5/25	7/27~8/3	10/19~10/26	1/18~1/25	年平均
上富第1区第1ゲートボール場		0.054	0.041	0.110	0.190 (0.190)	0.099
役場車庫棟		0.068	0.063 (0.063)	0.086	0.067	0.071
竹間沢公民館		0.043	0.066	0.074	0.064	0.062
保健センター		0.049	0.076	0.094	0.059	0.070

○()内は、二重測定を行った結果です。
◎ 毒性等量は、検出下限値以上の数値はそのままの数値を用い、検出下限未満の数値は、検出下限値の1/2の数値を用いて算出しました。

大気中のダイオキシン類(PCDD+PCDF+コプラナーPCB)濃度調査結果

平成18年度に実施しました、環境大気等調査結果がまとまりましたので、お知らせします。今回お知らせする内容は、大気中のダイオキシン類、清掃工場のダイオキシン類、大気中の浮遊粒子状物質、光化学オキシダント、二酸化窒素、ベンゼン及び酸性雨の各測定結果です。これらの調査は、環境汚染状況の現状と動向を把握するために実施しました。

大気中の環境等調査結果

大気中調査結果のまとめ

ダイオキシン類対策特別措置法(平成12年1月15日)に基づき、環境基準入るの健康を保護するうえで維持されることと望ましい基準として年平均値での大気環境基準0.0pg TEQ/m³以下と比較して、全ての調査地点で基準値以下となりました。なお、平成19年度も調査を実施してまいります。

清掃工場の測定結果

名称	測定結果	
	浸出処理水 pg-TEQ/ℓ	周縁地下水 pg-TEQ/ℓ
測定値	0.27	0.07
基準	10	1
測定日	6月14日	10月11日

※ダイオキシン類対策特別措置法により処理水については排出基準、地下水は環境基準が適用されます。
処理水・地下水は基準以内を示しております。

清掃工場のダイオキシン類測定結果

廃棄物の処理及び清掃に関する法律並びにダイオキシン類対策特別措置法(平成12年1月15日施行)に基づき実施しましたダイオキシン類濃度調査結果がまとまりましたのでお知らせします。



■酸性雨(役場屋上で測定)
○年間平均値 PH 5.09 (初期降雨 4.12~6.34)
※酸性雨の尺度としてはPH(水素イオン濃度指数)が用いられます。
PH7が中性で、PH1~6.9が酸性、PH7.1~14がアルカリ性です。
PHの値が小さいほど酸性が強く、通常ではPH5.6以下のものを酸性雨と呼んでいます。

大気汚染の実態を把握するため、浮遊粒子状物質、光化学オキシダント、窒素酸化物、ベンゼン(下表)及び酸性雨の測定を行いました。このたび、その結果が得られましたので、お知らせします。

浮遊粒子状物質、光化学オキシダント、二酸化窒素、ベンゼン及び酸性雨の測定結果

測定地点名	役場車庫棟				測定地点名
	浮遊粒子状物質	光化学オキシダント	二酸化窒素	ベンゼン	
項目					項目
測定期間	平成18年8月29日~9月11日				9月4日~5日
期間平均値	0.034mg/m ³	0.030ppm	0.019ppm		
1時間値の最高値	0.089mg/m ³	0.122ppm	0.046ppm	1.5μg/m ³	本測定
日平均値の最高値	0.043mg/m ³	0.043ppm	0.032ppm		
測定期間	平成19年1月30日~2月12日				1月30日~31日
期間平均値	0.033mg/m ³	0.023ppm	0.028ppm		
1時間値の最高値	0.090mg/m ³	0.060ppm	0.091ppm	4.9μg/m ³	本測定
日平均値の最高値	0.052mg/m ³	0.045ppm	0.051ppm	3.2μg/m ³	平均
環境基準	1時間値の1日平均値が0.10mg/m ³ 以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m ³ 以下であること。	1時間値が0.06ppm以下であること。	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。	3 ※環境基準は、1年平均値。結果は、20℃、101.3kPaにおける濃度	環境基準

問い合わせ 自治環境課環境衛生係 (内線266)